

会 飲 交 賀 詞  
**次の半世紀に向けた礎の年に**  
**全国産業資源循環連合会**

全国産業資源循環連合会の新年賀詞交歓会が18日、東京都港区の明治記念館で開催された。全国の産業廃棄物処理業関係者が多数参加したほか、秋元司環境副大臣らが来賓として出席した。

開催に当たりあいさつに立った永井良一会長は、「当連合会は昨年4月、組織名称を『産業資源循環連合会』に改称した。この名称変更は、一昨年の『資源循環を促進するための産業廃棄物処

理業の振興に関する法律案大綱』の公表とともに、産業廃棄物の適正な資源循環を担い循環型社会の形成に及び組む本業界の決意を示すものである」と、改めて資源循環業界へ転換を図っていくことを強調した。

さらに今年を展望し、「来年2020年には廃棄物処理法が制定されて50年、すなわち産業廃棄物処理業が誕生して半世紀を迎える。この大きな節目を前に、本会は資源循環の土台を担い、環境を守り産業を支える産業として、国民の皆様のご理解と信頼を得られるように努め、次の半世紀に向けた礎の年にしたい」と語った。



永井会長